

事業者向け資料

あおもり ヘルシーライフフード

プロモーション推進事業

モデル商品開発事例集

人生100年時代 健康志向商品開発へのヒント



あおり ヘルシーライフフード プロモーション推進事業とは？

人生100年時代と言われている中、国民の健康志向の高まりにより、健康ニーズのビジネスチャンスの拡大が予想されています。また、青森県は全国有数の食料供給県であり、健康づくりにつながる食材も豊富にあるという強みを持っています。

県産食材を使用して、健康志向に対応し、付加価値を高めた商品を県内の多くの企業が生み出すことで、県内全体の食産業の利益拡大だけでなく、県産品の消費拡大と、県民の健康的な食生活の実現をも目指すことができるのではないかと？

そんな想いから、県では、県産食材を用いた健康志向の商品開発・販売を促進する「あおりヘルシーライフフードプロモーション推進事業」を実施しました。

令和元年8月、健康志向商品の市場動向やニーズ、商品開発における実践的なノウハウなどに関するセミナーを開催しました。その参加者から「あおりヘルシーライフフード」開発に取り組むモデル企業を募集し、選ばれた3社がアドバイザーによるアドバイスを受け、約半年の間商品開発に取り組んできました。

そして令和2年2月、減塩食品2品、栄養機能食品1品が開発されました。

県では、今回の3商品をモデルとして、健康づくりに貢献できる商品を開発するためのノウハウを県内企業へ広めることで、健康志向の新商品開発を促していきたいと考えています。

また県では、健康福祉部を中心として県民の健康づくりに取り組んでおり、消費者である県民自身のヘルスリテラシーの向上により、健康志向の商品を選ぶ機運がさらに高まっていくと予測されます。本事業を通して、そうしたニーズに応え健康的な食生活の実現を支える商品が増えることは、県民の健康寿命の延伸にもつながることから、県内事業者の皆様ぜひお力添えをいただければ幸いです。

新商品開発でも、既存商品のブラッシュアップでも、健康志向の要素を追加することはそこまで高いハードルではありません。本誌にてモデル商品完成までの道のりを記すことで、県内企業が減塩や栄養機能食品などの健康志向商品開発に取り組むきっかけになればと思っています。

人生100年時代の健康を 食で応援してみませんか？

アドバイザーからのメッセージ

商品開発アドバイザー



ケイ・シグナル代表
青森県よろず支援拠点チーフコーディネーター

加藤 哲也 (かとう てつや)

健康・機能性食品の分野では、「特定保健用食品(トクホ)」制度に加えて、新たに「機能性表示食品」制度が導入され、機能性が明記された加工食品が続々と発売されています。そのほか低カロリー、低糖質など、何らかの健康・機能性に関するメッセージが添えられているドリンク、お菓子、惣菜などが多く見られるようになりました。

更には、新たに全ての加工食品への5項目の「栄養成分表示(①カロリー、②たんぱく質、③脂質、④炭水化物、⑤食塩相当量)」も義務化され、消費者がどの商品を購入するか?という選択の際は、それぞれの商品に込められた【健康・機能性ストーリー】が大きなポイントとなってきています。

本事業では、今年度は「減塩」や「栄養機能食品」をテーマにした3つの事業者が新商品の開発に取り組みました。いずれの商品も、青森県産の食材のおいしさに、【健康・機能性ストーリー】を組み合わせた魅力的な商品に仕上がったと思います。

中小企業者でも「機能性表示食品」や「栄養機能食品」として機能性を明記した商品を開発することもできますし、機能性の明記なしでも、青森県産の様々な素材の機能性を活かした商品や、「低カロリー」「低糖質」等、現在の健康・機能性のトレンドに合った商品の開発や改良は引き続き求められるでしょう。

県内の事業者の皆様には、是非、この事業やこの事業で生まれた3つの商品をきっかけ・ヒントにして、様々な健康・機能性食品の開発、改良に取り組んでいただければと思います。

表示・広告関連アドバイザー



株式会社薬事法マーケティング事務所
代表取締役

渡邊 憲和 (わたなべ のりかず)

今回、あおりヘルシーライフフードプロモーション推進事業の商品開発において、事業者の皆様は食品表示に関する法律の内容のわかりにくさに苦勞されていました。たしかに、食品の表示に関しては、食品表示法や景品表示法など複数の法律が存在します。最近では、機能性表示食品制度も始まり、どのように健康関連食品を開発していけば良いのか、対応になかなか大変な思いをされている企業も多いのではと考えます。青森県では、食品関連の専門家によるアドバイスをを行うといった、事業者をサポートする仕組みがあります。事業者様だけで悩まずに、まずは気軽に相談できる場所を探していただくのが一つの解決策ではないかと考えます。相談することで、自社でできること、できないことが明確になり、取るべきアクションがわかるきっかけにつながると思います。

昨今、社会情勢や高齢化社会が進むにつれ、健康に関するニーズや関心はますます高まっています。健康な生活を維持するためにも、食事はとても重要な要素です。青森県の特産物の中には、健康に良いとされる食材がいくつもあります。これらの県産品を使用して健康に良い食品開発ができれば、地方活性化にも繋がり、食品産業にとっても消費者にとっても良い結果が生まれるのではないのでしょうか。

ぜひ、今回の「あおりヘルシーライフフードプロモーション推進事業」を足掛かりに、県の産業の一環として、健康に役立つ食品が多く世に出ることを願っています。